

チームの生産性を向上させる

リーダーの仕事の一言でいうと「チームとしての仕事の成果を最大化させること」
現在は、これに加え「ワーク・ライフバランスへの責任」も求められるようになって
います。チームリーダーとしての視点を持った「タイムマネジメント」スキルの
習得を通じて、職場の要であるリーダーの意識と行動の変容を促進させます。

このようなご要望にお応えします

メンバーの仕事が効率的
に進んでいないと感じる

時短を意識すると、
仕事の質が低下して
しまう

仕事の優先順位が
付けられていない

自分がないと仕事が
回らない

セミナーのねらい

対象をリーダーに絞ったタイムマネジメント技術を習得することで、チーム全体の『仕事の生産性』を向上させることをねらいとしています。仕事の見える化・仕事の計画化・メンバーの指導育成・しくみの構築といった観点から学び、リーダーとして最小の時間で最大の効果をあげる方法を学びます。

受講対象者

リーダー的立場にある一般組合員、職場委員、執行委員

プログラムの特徴

- ・ ベストセラーに裏付けられた、信頼のコンテンツを提供。
- ・ 根幹の考え方と具体的方法論の両面からのアプローチ。
- ・ 多彩な演習とフィードバックを通じて行動変容を促進。



『仕事ができる人の
段取りの技術』
西野浩輝著
東洋経済新報社 2006年

株式会社ライフワークス

www.lifeworks.co.jp

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-3 TEL:03-5157-1470 FAX:03-5157-1471

プログラム紹介

概要

コアメッセージ

常に高い視点から、
チーム全体を俯瞰



リーダーとして、最小の時間で、
最大の効果を上げさせる

カバーする領域

タスク・マネジメント

- ・チームTodo管理
- ・タスクの割り当てと再配分

メンバー・マネジメント

- ・コミュニケーションの効率化
- ・メンバーの指導

しくみマネジメント

- ・ツール化とルール化
- ・しくみの成長のさせ方

プログラム 詳細

		何を学ぶのか？	修得による効果
リーダーとしてのタイムマネジメントの基本		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 今、求められていることと現状の把握 ➢ リーダーが持つべき「視点」 ➢ 研修のコアコンセプト 	現状と求められていることを理解することで、研修に対する問題意識を明確に持つ。その上で、根幹の概念と学ぶ領域を掴む。
計画化・タスクの見える化		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 見える化すべき3つの管理 ➢ 「トップダウン」と「ボトムアップ」から、チームTodoに落とし込む ➢ チーム・スケジュールリングのコツ ➢ チームの仕事の再配分と効率化 	チームのタスクを計画化・見える化する重要性を理解し、その具体的なやり方とツールを学ぶ。そうすることで、チーム全体を俯瞰した上で、効率的・効果的に仕事を進めることができるようになる。
メンバー・マネジメント	メンバー・コミュニケーションの効率化	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 仕事を委譲する際の3点セット ➢ アサインした仕事のフォローの際のコツと注意点 ➢ 中断時間のマネジメントの方法 	メンバーとのやりとりにおける効率性を高めるための工夫の仕方を学ぶ。それによって、コミュニケーション・ロスを最小化し、生産性を格段に向上させる。
	モチベーション管理	<ul style="list-style-type: none"> ➢ モチベーションアップのための3つのエンジンのマネジメント ➢ マズローの5段階欲求説に基づいた管理 	メンバーのモチベーションの上げ方やマネジメントの仕方を理解することで、より効率的なチーム運営につなげる。
	メンバー教育	<ul style="list-style-type: none"> ➢ メンバーの仕事の進め方にメスを入れるべき理由 ➢ 「マクロ・ミクロ」指導による育成 ➢ メンバーのイメージング力の高め方 	リーダーとメンバーの視点の違いを理解した上で、タイムマネジメント力向上のための指導・育成のコツを学ぶ。それによって、メンバーの生産性を大きく向上させる。
しくみ作りと運用		<ul style="list-style-type: none"> ➢ リーダーとしてのツール化とルール化 ➢ しくみの管理および改善の仕方 ➢ 会議の進め方を仕組み化するコツ 	リーダーとしてのチームのしくみ化のプロセスとコツを掴む。そのことを通じて、究極は自分がいなくても仕事が回る仕組みを作り上げ、メンバーの仕事を楽にさせる。

受講者の声



・ 質の高いアウトプットのために
仕組みを作りあげ、結果として
チームのパフォーマンスをアップ
させることの重要性がわかった

対応可能な
バリエーション

2時間	半日	1日	2日
○	○	○	○

講師



西野 浩輝

マーキュリッチ株式会社
代表取締役

大阪大学大学院卒。(株)リクルートに入社し、営業、商品開発、マーケティング等の仕事を担当。営業や新規事業提案等で数々の賞を獲得。外資系教育会社を経て、マーキュリッチ設立。現在、コミュニケーションスキル全般の教育を行う。著書に『5日で身につく伝える技術』他多数。



野村 尚義

マーキュリッチ株式会社
副社長

神戸大学理学部卒。システム開発会社で 大手製造業、ベンチャーキャピタル等のシステム化に寄与する傍ら、社内でのトレーニング(プレゼンテーション、財務会計、新入社員教育等)を担当。その後、マーキュリッチ株式会社設立に参画。現在、研修トレーナーとして、労働組合、企業から公的機関まで広く指導し、高い評価を得ている。

主な研修・講演実績

マイクロソフト、KDDI、伊藤忠商事、NEC、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、住友信託銀行、ジブラルタ生命、あいおい損害保険、日本たばこ産業、ジェイティ飲料、ヤクルト本社、日立総合経営研修所、竹中工務店、イオン、ほか(敬称略)